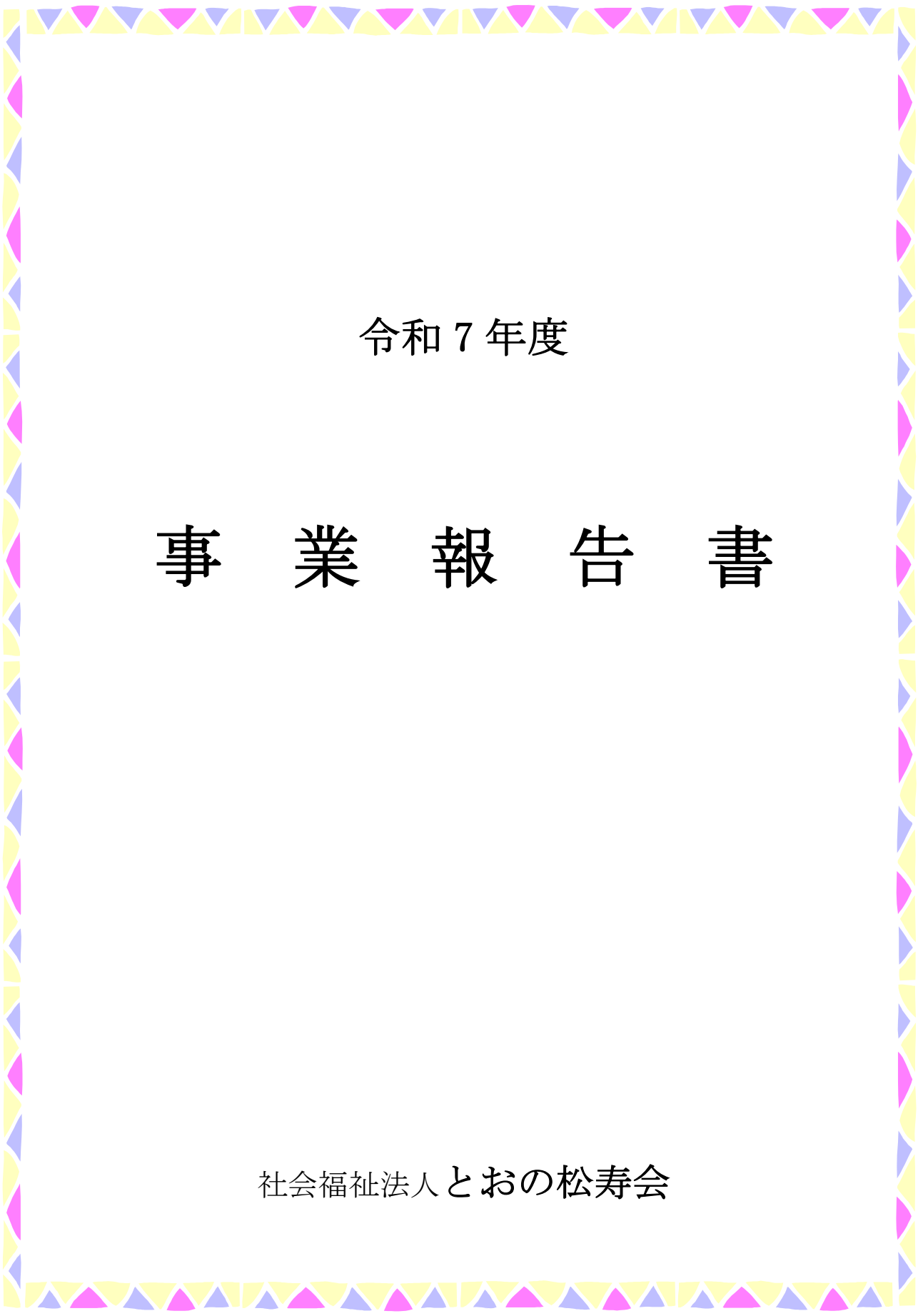




令和 7 年度

事業報告書

社会福祉法人とおの松寿会

目 次

【1】 社会福祉法人とおの松寿会活動状況の総括	1
【2】 社会福祉法人とおの松寿会の概要	2～12
【3】 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（長期入所）	13～20
【4】 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（短期入所）	21～24
【5】 老人デイサービスセンター長寿園	25～27
【6】 居宅介護サポートセンター長寿園	28～30
【7】 生活支援ハウス長寿園	31～32
【8】 養護老人ホーム長寿の森吉祥園	33～39
【9】 デイサービスセンター長寿の森踊鹿	40～42
【10】 ヘルパーステーション長寿の森	43～44
【11】 小規模多機能型居宅介護事業所長寿庵	45～49
【12】 グループホーム長寿庵	50～51
【13】 法人事務部	52
【14】 経営改革室	53～54

【1】社会福祉法人とおの松寿会活動状況の総括

令和7年度、とおの松寿会は設立25年目（遠野長寿の郷24年目、長寿の森22年目、長寿庵19年目）を迎え、第四期中長期計画の確実な執行とともに、コロナ禍を経て少しずつ「地域との繋がり」と介護現場の質向上に向けた「働き方改革」が結実した1年となりました。

遠野長寿の郷では、介護ロボット・ICT機器や介護用品、介護助手の導入・活用等による業務改善、時間外労働縮減の推進が評価され、「介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣奨励賞」を受賞しました。

長寿の森吉祥園では、9月に青笹小学校との交流会が6年ぶりに開催され、子供たちと触れ合い利用者の大きな活力となりました。

長寿庵では、令和2年3月から休止だったグループホームを5年ぶりに再開し、地域の認知症高齢者の暮らしを支える事業所となりました。

財務状況については、各事業所が高い利用稼働率を維持したこと、また9月に養護老人ホーム長寿の森吉祥園特定施設を「外部サービス利用型」から「一般型」に転換、グループホーム長寿庵を4月に再開したことで、昨年比でサービス活動収益が約58,900千円の増加となりました。費用については、止まらないエネルギー価格の上昇と物価高騰、職員給与のベースアップによる人件費上昇などで、昨年比で約23,500千円増えたものの増収増益となりました。

運営については、各拠点の生産性向上委員会やリスクマネジメント委員会を中心に、介護現場の生産性向上や介護サービスの質の向上、介護事故防止、不適切ケア・虐待防止対など多岐にわたる現場の課題について協議検討し、安心安全な介護サービスの提供に努めました。

人材確保対策については、介護職員等処遇改善加算を原資とした賃上げのほかに、法人持出により2回に分け合計6,000円のベースアップを行い、職員の働きがいの向上と雇用の安定化を図りました。また、人材育成基本方針を基盤とした（1）キャリアパス制度の運用、（2）個別研修計画による計画的な育成、（3）定期的な1on1による育成サポートの実施で職員の育成と定着に取り組みました。これらの取り組みより離職率が昨年の5.9%から5.5%と0.4ポイント改善しました。さらには、今後を見据え、特定技能実習生3名と奨学生外国人3名の受入れ準備を行うとともに、職員寮の整備も行いました。

設備投資としては、遠野長寿の郷では、経年劣化した外壁、屋根等の防水工事、塗装工事を行い、長寿命化を図りました。またデイサービスセンター長寿園では、結露改善として浴室換気扇追加工事、天井裏断熱付加工事を行いました。長寿の森吉祥園では、コンビオーブンの更新工事、長寿庵では、再開したグループホームにエアコン設置工事を行いました。

最後に、「地域とともに持続発展する」の経営理念のもと、組織の最小単位である「人（職員）」の成長が、組織の成長につながり、より多くの地域の要介護者のニーズに応えることができた一年となりました。

【2】社会福祉法人とおの松寿会の概要

1 法人の概要

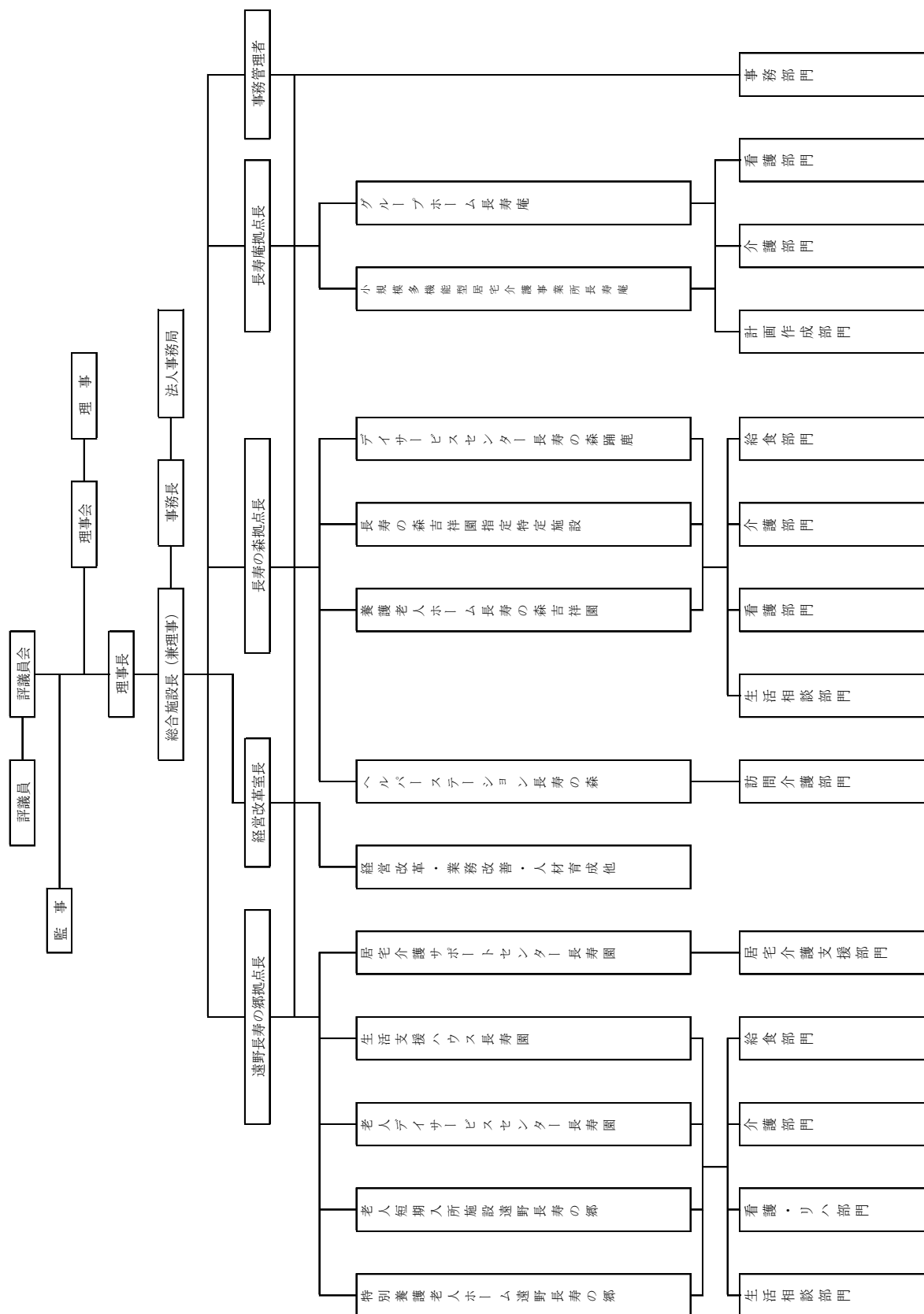
主たる事務所の所在地	岩手県遠野市松崎町白岩 18 地割 7 番地		
法 人 の 名 称	社会福祉法人とおの松寿会		
代 表 者 職 氏 名	理事長 小 時 田 繁（おときだ しげる）		
設 立 許 可 年 月 日	平成 13 年 3 月 13 日	設 立 年 月 日	平成 13 年 3 月 23 日

2 役員等の状況

令和 8 年 3 月 31 日現在

氏 名	就任年月日	職 業 等	氏 名	就任年月日	職 業 等
理 事（定数 6 名、現任数 6 名、欠員 0 名）					
小 時 田 繁	R7. 6. 25	会社役員	立 花 敬 三	R7. 6. 25	会社役員
菊 池 照 夫	R7. 6. 25	会社役員	千 葉 純 子	R7. 6. 25	開業医
松 田 孝	R7. 6. 25	会社役員	菊 池 浩 之	R7. 6. 25	施設長
監 事（定数 2 名、現任数 2 名、欠員 0 名）					
菊 池 清	R7. 6. 25	民生児童委員	琴 畑 錦 一	R7. 6. 25	民生児童委員
評議員（定数 7 名、現任数 7 名、欠員 0 名）					
田 中 昭 彦	R7. 6. 25	歯科医師会	村 上 俊 市	R7. 6. 25	松崎町 第 8 区自治会長
米 田 昭 子	R7. 6. 25	前第三者委員	正 部 家 孝 枝	R7. 6. 25	松崎町代表
菊 池 芳 孝	R7. 6. 25	民生児童委員	菊 池 薫	R7. 6. 25	利用者家族
菊 池 よ し	R7. 6. 25	前法人事務員			

3 社会福祉法人とおの松寿会運営組織



4 令和7年度理事会・評議員会の開催状況

〔理 事 会〕

第1回臨時理事会

令和7年5月7日

議案第1号 遠野長寿の郷長寿命化工事の契約方法及び入札条件等の決定について

第1回定例理事会

令和7年6月6日

議案第2号 令和6年度事業報告について

議案第3号 令和6年度決算の承認について
(監査報告)

議案第4号 新役員候補者の決定について

議案第5号 役員及び評議員等の報酬・費用並びに慶弔等に関する規程の変更について

議案第6号 職員就業規則の変更について

議案第7号 職員給与及び退職金規則の変更について

議案第8号 令和7年度定時評議員会の招集について

議案第9号 遠野長寿の郷長寿命化工事の入札結果及び契約について

第2回臨時理事会

令和7年6月25日

議案第10号 理事長の選定について

議案第11号 養護老人ホーム長寿の森吉祥園指定特定施設運営規程の全部変更について

第3回臨時理事会

令和7年11月14日

議案第12号 令和7年度第1次補正予算の承認について

議案第13号 職員給与及び退職金規則の変更について

議案第14号 パートターマー就業規則の変更について

議案第15号 ヘルパーステーション長寿の森吉祥園運営規程の変更について

議案第16号 養護老人ホーム長寿の森吉祥園運営規程の変更について

議案第17号 施設整備等積立金の一部を定期預金に預け入れすることについて

報 告 理事長の職務執行状況の報告について
各種表彰について

令和7年度上半期実践内容実施報告について

第4回臨時理事会

令和8年1月16日

議案第18号 特定技能実習生等職員宿舍の土地及び建物の取得について

第2回定例理事会

令和8年3月25日

議案第19号 令和7年度第2次補正予算（案）について

議案第20号 令和7年度事業計画（案）について

議案第21号 令和7年度予算（案）について

議案第22号 職員給与及び退職金規則の一部変更について

議案第23号 居宅介護サポートセンター長寿園運営規程の全部変更について

議案第24号 職員寮運営規程の制定について

議案第25号 第三者委員の選任について

議案第26号 経理規程の一部変更について

〔評議員会〕

定時評議員会

令和7年6月25日

議案第1号 令和6年度決算の承認について
（監査報告）

議案第2号 新役員の選任について

議案第3号 役員及び評議員等の報酬・費用並びに慶弔等に関する規程の変更について

報 告 令和6年度事業報告について

5 法人の運営状況

(1) 職員採用について

7 年度職員採用・退職状況

採用 (18名)	新卒	介護職員 1人		
	中途	介護職員 7人	看護職員 2人	生活相談員 0人
		介護支援専門員 0人	(管理) 栄養士 0人	
		機能訓練指導員 0人	事務員 0人	調理員 8人
退職 (13名)		介護職員 12人	看護職員 0人	生活相談員 0人
		介護支援専門員 0人	(管理) 栄養士 0人	
		機能訓練指導員 0人	事務員 1人	調理員 0人

(2) 社会福祉関係の専門資格取得に関して

社会福祉・介護関係有資格者数（令和 8 年 3 月 31 日現在）

社会福祉士	3 名
介護支援専門員	18 名
社会福祉主事	29 名
介護福祉士	88 名
ヘルパー 1 級	4 名
ヘルパー 2 級・介護職員初任者研修	75 名
看護師	8 名
准看護師	6 名
作業療法士	3 名
按摩・マッサージ・指圧・針灸師	0 名
管理栄養士	1 名
栄養士	3 名

※複数の資格を有する者あり

(4) 運営事業

介護保険事業

事業等の名称	事業の概要	事業開始年月日	備 考
●介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム遠野 長寿の郷 (岩手県指定)	入所定員 64 名 ユニット型居室 64 室 第 0370800153 号	●平成 14 年 3 月 20 日	平成 27 年 3 月 20 日に従来型 多床室と分離
●介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム遠野 長寿の郷（従来型） (岩手県指定)	入所定員 36 名 居室 12 室（2 人部屋：4 室、 3 人部屋：4 室、 4 人部屋：4 室） 第 0370800476 号	●平成 27 年 3 月 20 日	平成 27 年 3 月 20 日にユニッ ト型個室と分 離

●短期入所生活介護事業 ●介護予防短期入所生活介護事業 特別養護老人ホーム遠野 長寿の郷 (岩手県指定)	入所定員 23 名 (併設型) 居室 17 室 (個室: 14 室、 3 人部屋: 3 室) 第 0370800161 号	●平成 14 年 3 月 20 日 ●平成 18 年 4 月 1 日	
●短期入所生活介護事業 ●介護予防短期入所生活介護事業 特別養護老人ホーム遠野 長寿の郷 (空床利用型) (岩手県指定)	入所定員 64 名 (併設型) ユニット型居室 64 室 第 0370800484 号	●平成 27 年 3 月 20 日 ●平成 27 年 3 月 20 日	
●通所介護事業 ●遠野市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通所介護相当サービス) 老人デイサービスセンター長寿園 (岩手県・遠野市指定)	利用定員 25 名 (併設・一般型) 基本サービス 6~7 時間 1 単位 通常の実サービス提供区域: 旧遠野市の区域 第 0370800179 号	●平成 14 年 3 月 20 日 ●平成 18 年 4 月 1 日 ●平成 29 年 4 月 1 日	
●通所介護事業 ●遠野市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通所介護相当サービス) デイサービスセンター長寿の森 踊鹿 (岩手県・遠野市指定)	利用定員 30 名 (併設・一般型) 基本サービス 6~7 時間 1 単位 通常の実サービス提供区域: 旧遠野市の区域 第 0370800237 号	●平成 16 年 4 月 1 日 ●平成 18 年 4 月 1 日 ●平成 29 年 4 月 1 日	平成 21 年 7 月 1 日利用定員 を 30 名から 35 名に変更 平成 30 年 4 月 1 日利用定員 35 名から 30 名に変更
●居宅介護支援事業 居宅介護サポートセンター長寿園 (岩手県指定)	介護支援専門員 4 名 通常の実サービス提供区域: 旧遠野市の区域 第 0370800187 号	●平成 14 年 3 月 20 日	
●特定施設入居者生活介護事業 養護老人ホーム長寿の森 吉祥園指定特定施設	入所定員 50 名 居室 28 室 (個室: 6 室、 2 人部屋: 22 室) 第 0370800294 号	●平成 18 年 10 月 1 日	令和 8 年 9 月 1 日から一般 型に指定変更

(岩手県指定)			
●訪問介護事業 ●遠野市介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業（訪問介護相当サービス） ヘルパーステーション長寿の森 （岩手県・遠野市指定）	通常サービス提供区域：旧遠野市の区域 第 0370800286 号	●平成 18 年 10 月 1 日 ●平成 18 年 10 月 1 日 ●平成 29 年 4 月 1 日	令和 8 年 1 月 1 日から 休止
●小規模多機能型居宅介護事業 ●介護予防小規模多機能型居宅介護事業 小規模多機能型居宅介護事業所 長寿庵 （遠野市指定）	登録定員 29 名 通い定員 15 名 泊り定員 9 名 居室 9 室（個室：5 室、 個室以外の宿泊室：4 室） 第 0390800027 号	●平成 19 年 5 月 10 日 ●平成 19 年 5 月 10 日	平成 27 年 4 月 1 日登録定員 を 25 名から 29 名に変更
●認知症対応型共同生活介護事業 ●介護予防認知症対応型共同生活介護事業 グループホーム長寿庵 （遠野市指定）	入所定員 9 名 居室 9 室（個室：9 室） 第 0390800043 号	●平成 19 年 5 月 10 日 ●平成 19 年 5 月 10 日	令和 2 年 2 月から休止

措置・受託事業

事業等の名称	事業の概要	事業開始年月日	備 考
●養護老人ホーム事業 養護老人ホーム長寿の森 吉祥園 （遠野市措置）	入所定員 50 名 ショート定員 2 名（遠野市生活管理短期 宿泊事業） 居室 29 室（個室：6 室、 2 人部屋：22 室、 ショート 2 人部屋：1 室）	●平成 16 年 4 月 1 日	
●生活支援ハウス事業 生活支援ハウス長寿園 （遠野市受託）	利用定員 10 名 居室 9 室（個室：8 室、 2 人部屋：1 室）	●平成 14 年 4 月 1 日 ●平成 21 年 4 月 1 日	遠野市より 受託 委託契約 更新

●生活管理指導短期宿泊事業 特別養護老人ホーム遠野長寿の郷 (遠野市受託)	遠野長寿の郷の空床を利用	●平成 14 年 10 月 1 日 ●平成 21 年 4 月 1 日	遠野市より 受託 委託契約 更新
---	--------------	---	---------------------------

(5) 職員体制 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

遠野長寿の郷

職 種 事業所名		施設長	介護支援専門員	生活相談員	介護職員等	看護職員	機能訓練指導員	医師 嘱託	管理栄養士・栄養士	調理員	事務員	事業所合計
遠野長寿の郷 (特養)	常 勤	1	1	1	41	6	1		2	1	5	58
	非常勤				15			2		8		25
	計	1	1	1	56	6	1	2	2	9	5	83
遠野長寿の郷 (短期入所)	常 勤	(1)		1 (1)	12 (1)	1						14
	非常勤				2							2
	計	(1)		1 (1)	14 (1)	1						16
老人デイサービス センター長寿園	常 勤	(1)		1 (3)	6 (3)	1	1					9
	非常勤				1							1
	計	(1)		1 (3)	7 (3)	1	1					10
居宅介護ステーション センター長寿園	常 勤	(1)	3									3
	非常勤											0
	計	(1)	3									3
生活支援ハウス 長寿園	常 勤	(1)			(2)							0
	非常勤											0
	計	(1)			(2)							0
合 計	常 勤	1	4	3	59	8	2		2	1	5	84
	非常勤				18			2		8		29
	計	1	4	3	77	8	2	2	2	9	5	113

※₁ 常 勤＝フルタイム、非常勤＝パートタイム ※₂ 主たる兼務先を表記 ※₃ () は従たる兼務先

長寿の森

職 種 事業所名		拠点長	計画作成担当者	生活相談員	サ ビ リ テ ィ 提供責任者	介護職員等	看護職員	機能訓練指導員	医師 嘱託	管理栄養士・栄養士	事務員	調理員	事業所合計
長寿の森 吉祥園	常 勤	1	1	1(1)		10	2			1	1	3	20
	非常勤					12			1			1	14
	計	1	1	1(1)		22	2		1	1	1	4	34
デイサービスセンター 長寿の森踊鹿	常 勤	(1)		1(2)		4(2)	1						6
	非常勤					3							3
	計	(1)		1(2)		7(2)	1						9
ヘルパーステーション 長寿の森	常 勤												
	非常勤												
	計												
合 計	常 勤	1	1	2		16	3			1	2	3	29
	非常勤					13			1			1	15
	計	1	1	2		29	3		1	1	2	4	44

※₁ 常 勤＝フルタイム、非常勤＝パートタイム ※₂ 主たる兼務先を表記 ※₃ () は従たる兼務先

長寿庵

職 種 事業所名		管理者	介護支援専門員	計画作成担当者	介護職員等	看護職員	機能訓練指導員	事業所合計
小規模多機能型 居宅介護事業所 長寿庵	常 勤	1	(1)	(1)	11	1		13
	非常勤				4			4
	計	1	(1)	(1)	15	1		17
グループホーム 長寿庵	常 勤	(1)	(1)	(1)	7			7
	非常勤					1		1
	計	(1)	(1)	(1)	7	1		8
合 計	常 勤	1			18	1		20
	非常勤				4	1		5
	計	1			22	2		25

※₁ 常 勤＝フルタイム、非常勤＝パートタイム ※₂ 主たる兼務先を表記 ※₃ () は従たる兼務先

(6) 社会福祉法人とおの松寿会の動き

令和7年		概 況
4	1	令和7年度辞令交付式
	1～4	新採用研修会
	4	法人全体会議（事業計画周知、勤続職員表彰）
	15・16	職員定期健康診断
	23	評議員選任・解任委員会
	25	職員会主催新人歓迎会（あえりあ遠野）
5	7	第1回臨時理事会
	15	とおの就職ガイダンス
	21	監事下半期出納調査及び決算監査
6	3	遠野長寿の郷長寿命化工事指名競争入札
	5	法人全体会議（事業報告）
	6	第1回定例理事会
	23	第三者委員への苦情報告会
	25	定時評議員会、第2回臨時理事会
	30	遠野市社会福祉法人等連絡会幹事会
7	9	遠野市社会福祉法人等連絡会総会
	26	遠野長寿の郷夏まつり、家族会総会
8	2	長寿の森吉祥園夏まつり
9	13	遠野長寿の郷敬老会
	18	長寿の森吉祥園敬老会
10	3	遠野長寿の郷家族会清掃活動
	9	介護職員の働きやすい職場づくり厚生労働大臣奨励賞伝達式
11	5	法人全体会議
	12	監事上半期出納調査及び監査
	12	全国社会福祉大会（遠藤利則、菊池清子出席）
	14	第3回臨時理事会
	17	いわて働き方改革 AWARD2025 授賞式
	26	遠野長寿の郷長寿命化工事完了検査

12	1	遠野市長表敬訪問
	3	ホームページリニューアルコンペ
	19	職員会主催忘年会（たかむろ水光園）
令和 8 年		概 況
1	5	仕事始め式、新春祈祷
	16	第 4 回臨時理事会、役員等新年会
2	25	とおののしごと発券事業所説明会
3	25	第 2 回定例理事会

6 令和 7 年度寄付者御芳名（法人・施設受付分）

【個人】なし
【団体】なし

【3】特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（長期入所）

1 実践目標

- ・サービスの質の向上と利用者・家族の満足向上
- ・数値目標 96%以上 （年間収入目標 498,000,00 円以上）

2 実践目標の達成状況及び成果

実践目標は、サービスの質の向上と利用者・家族の満足向上、数値目標 96%を掲げました。令和7年度はインフルエンザやコロナウイルスによるクラスターはありませんでしたが、風邪による蔓延は2回あり、肺炎で入院する方もいました。

看取り介護については、契約解除を含めて退所は25名の内、10名の利用者様が看取り介護にて逝去しました。令和6年度は17名の看取り介護の方がいました、令和7年度に比べ7名少なく病院での逝去が15名と看取り介護より病院での逝去が多く見られました。ADLが低下して、医師よりこれ以上治療がない利用者様は終末期になっていき、看取り介護の対応となります。しかしながら、ご家族様の意向により、継続して治療を望まれる場合もあります。日増しに変化する利用者様の状態にご家族の方々は思い通りにならなかったり、精神的にも苦痛を感じるなど悩まれることも多かったです。そんな時には、家族の皆様と話し合いを重ねたり、医師や看護・介護・相談など多職種で支援しながら家族の皆様の思いに寄り添いサポートしてきました。

不適切ケアについて、昨年は安心・安全な介護のための60のルールや虐待の芽チェックリストを使用して、2カ月おきにGoogleフォームを使用、評価して各町にごとに振り返りを行いました。言葉遣いの項目の評価が7割に達しないことが多いことがあり、継続してチェックリストを活用しながら多職種会議や権利擁護の委員会などで情報共有しながら次年度も改善していきます。

看護部門は体調不良者がいる際、嘱託医に早期に相談、対応することにより夜間の緊急受診が減り、利用者様への早期の対応、看護職員の負担軽減に繋がりました。

レク活動では偶数月に輪投げ大会やマージング行事など行い、1月の小正月には、餅つき大会を行い、杵を持ち利用者様に実際に餅をつきました。レク活動に参加された利用者様は笑顔がみられて楽しまれていました。

稼働率の96%の達成は年間8回、4カ月は95%を下回りました。要因として、誤嚥性肺炎や持病（心不全）などで入院、看取り介護にて逝去、入院中による逝去が続きました。逝去後の退所と入所が追い付かないことがあり、ベッド稼働率の低下に繋がりました。

3 運営状況

(1) 月別入退所状況（令和7年4月～令和8年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入 所	男	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	4
	女	3	1	1	0	1	4	2	2	1	1	2	2	20
退 所	男	1	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	5
	女	3	2	0	2	1	2	0	1	2	3	2	3	21
月末契約者数		96	98	98	95	89	98	97	96	97	92	97	98	

(2) 退所理由（令和7年4月～令和8年3月）

	家 族 引取り	死 亡			入院継続	その他	合 計
		施設看取り	入院中	自宅			
男	0	1	2	0	2	0	5
女	0	8	10	0	3	0	21
合 計	0	9	12	0	5	0	26

(3) 利用者の年齢状況（令和8年3月末現在）

年齢 性別	60未満	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	合 計	平 均 年 齢
男	0	0	0	0	2	4	3	11	20	89
女	0	1	1	1	4	7	16	48	78	89
合 計	0	1	1	1	6	11	19	59	98	89

(4) 在所期間状況（令和8年3月末現在）

期間 性別	0年以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	合 計
男	4	6	5	3	2	20
女	20	29	13	12	4	78
合 計	24	35	18	15	6	98

※ 平均入所期間 男性 1,398日 女性 1,114日 施設平均 1,172日

(5) 要介護度別利用状況（在所者状況）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	実人員	5	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3	48
	延べ人数	150	155	139	127	107	90	93	90	93	93	84	93	1,314
要介護 3	実人員	20	20	19	19	19	20	20	20	20	20	23	23	226
	延べ人数	587	606	588	589	579	591	611	600	620	645	587	697	7,301

要介護	実人員	40	41	41	41	43	42	43	44	43	43	42	44	550
4	延べ人数	1158	1210	1195	1240	1141	1186	1301	1288	1322	1297	1114	1288	14740
要介護	実人員	36	34	33	34	34	33	33	31	32	30	29	30	389
5	延べ人数	1002	1036	1037	1043	948	945	1003	913	934	837	757	865	11320
合計	実人員	101	100	98	99	100	98	99	98	98	96	97	100	1,282
	延べ人数	2897	3007	2959	2999	2775	2812	3008	2891	2969	2872	2542	2943	34674
1日平均利用者数		96.2	97.6	98.8	97.5	91.4	94.9	98.1	97.2	96.7	94.8	91.9	97.0	

(6) 介護保険負担限度額認定証交付状況（令和8年3月末現在）

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
男	2	3	3	6	6
女	3	20	12	18	25
合 計	5	23	15	24	31

(7) 施設入所待機者の状況（令和8年3月末現在）

申し込み受付時の状況	人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明
自宅等で介護中	66	6	8	24	15	13	0
老人保健施設に入所中	46	7	3	10	17	9	0
病院に入院中	53	1	3	10	23	16	0
GH・養護ホーム等	34	3	3	19	4	5	0
その他	7	0	0	2	5	0	0
合 計	206	17	17	65	64	43	0

4 利用者の事故とその対応について（長寿の郷拠点全体）

(1) 事故発生状況（令和7年4月～令和8年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	11	6	10	12	11	6	5	10	8	9	6	13	107
異食	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	6
誤薬	4	4	2	5	2	2	2	5	4	1	2	1	34
暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
無断外出	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷・あざ	49	42	47	52	51	32	48	46	46	33	35	29	510
その他	1	3	7	2	2	1	3	2	4	2	2	4	33
合 計	67	57	66	72	66	41	58	64	63	45	45	48	692

(2) 事故への対応

県や保険者に報告した大きな事故は、7件でした。内容は、介助方法のミスによる骨折が2件、転倒による骨折が4件、転落による外傷が1件でした。

法人としてはリスクマネジメント委員会を毎月開催して、介護事故の集計や内容の把握などを行い、介護事故削減に向け取り組みを行っています。事故が発生した際は、早急な受診と家族への報告を行うと共に、各ユニット単位で事故の原因や予防策を検討しています。

5 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	苦情等の受付はありませんでした
苦情の内容	
対 応	

6 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
女性。80代。 寝たきり状態で経鼻 経管栄養の方。	ミトン型手袋使用。	経鼻経管栄養者だが、度々自己抜去もあり、指針に則り手続きを行い開始している。代替案を常時検討しているが、なかなか有効策が見当たらず。切迫性・非代替性・一時性も確認した上でミトン型手袋使用継続中。
女性。90代。 ADL面に一部介助 を要する方。	つなぎ服着用。 (夜間帯のみ)	R7.9 トイレ内にて転倒後、左大転子部の骨折の診断を受けベッド上での療養生活が始まる。 R7.10 よりオムツを破いてベッド上がポリマーだらけになっていたり、弄便行為にて手指や顔まわり等も便で汚れている事が多く、異食等のリスクもかなり高い為、下剤調整等の排便コントロールなども色々試行したが効果も見られず、離床ができるまでの間、切迫性・非代替性・一時性を満たしている事から指針に則り、手続きを行い、ご家族に説明、同意を得たので夜間帯のみ身体拘束である「つなぎ服」を着用。3月時点で状態が安定し、離床も可能になってきている事から、解除に向けて着用時間の短縮や2人夜勤時は着用しないで経過を見る等の対応を取りながら進めている。

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

7 施設・設備等の改善について（長寿の郷拠点全体）

月 日	内 容
6月～11月	遠野長寿の郷長寿命化工事（外壁、屋根の修繕及び塗装、防水工事）
8月	デイ長寿園浴室換気扇追加工事
8月	デイ長寿園天井裏断熱付加工事
3月	スプリンクラー設備機器工事
3月	スプリンクラー設備ヒーター保温工事

8 行事实施状況

月 日	内 容	参加人数
7月29日	遠野長寿の郷夏まつり	家族30名
9月23日	敬老会	家族13名
1月15日	小正月	名

9 会議・研修実施状況（長寿の郷拠点全体）

（1）会議実施状況

会 議 内 容	回数
法人全体会議	3回
運営委員会	12回
衛生委員会	12回
主任者会議	12回
多職種連携会議	6回
広報委員会	6回
リスクマネジメント委員会(法人)	4回
安全部会	12回
身体拘束廃止及び権利擁護部会	12回
感染症部会	12回
防災部会	12回
給食委員会	12回
レク委員会	6回
経営推進会議（法人）	6回

（2）施設内研修実施状況

月 日	研 修 内 容	参加人数
4月1日～	令和6・7年度採用者兼中途採用者研修（4日間）	7名
5月8日	感染症予防・食中毒研修	41名
6月15日～	令和7年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	6名

6月16日～	介護職の接遇における基本と解説・高齢者とコミュニケーション・利用者様との信頼関係を築く（動画研修）	83名
7月15日～	事故が起きたら事故カンファレンス（動画研修）	83名
10月7日	高齢者虐待防止と虐待・身体拘束廃止の定着等	64名
10月20日～	新型コロナウイルス感染症発生時の対応方法	83名
10月28日～	医療的ケア研修実地研修	2名
11月11日	雇用管理責任者講習(オンライン)	1名
12月1日	身体拘束廃止研修、身体拘束せずに事故を防ぐ方法・プロフェッショナルケアで叶える「縛らない介護」の実践(動画研修)	83名
12月1日～	法人契約している顧問弁護士の動画研修	83名
12月2日	令和7年度 科学的介護情報システム（LIFE）第1回説明会(オンライン)	3名
1月20日～	KYT（危険予知トレーニング）研修	名
2月16日～	身体拘束、虐待防止に関する研修	87名
3月16日	令和7年度 科学的介護情報システム（LIFE）第2回説明会(オンライン)	1名

(3) 施設外研修

月 日	研 修 内 容	参加人数
4月10日～	令和7年度新入社員研修(全3回)	3名
5月12日	介護事業所BCP運用セミナー	1名
6月6日	令和7年度介護職員等合同入職式	3名
5月29日	令和7年度岩手県介護支援専門員更新研修Ⅰ(4日間)	1名
6月23日	令和7年度医療的ケア研修	2名
7月18日	第2回社会福祉従事者等専門研修【レクリエーション研修】	2名
7月25日	令和7年度あんしんサポート相談員養成研修	1名
8月21日	第3回社会福祉従事者等専門研修【認知症支援に関する研修】	1名
9月18日～	令和7年度東北ブロック老人福祉大会・研究会(2日間)	4名
9月23日	感染管理に係るリンクナース育成研修(基本研修)	1名
9月27日	感染管理に係るリンクナース育成研修(フォローアップ研修)	1名
10月27日	令和7年度遠野市障がい者就職相談会～障がい者雇用セミナー～	1名
10月27日～	令和7年度介護福祉士実習指導者講習会(4日間)	2名
10月27日	令和7年度遠野地域特定給食施設等栄養管理研修	1名

10月27日	令和7年度遠野市障がい者就職相談会	1名
10月29日	令和7年度認知症介護実践者研修(6日間)	1名
12月8日	令和7年中長期計画策定セミナー	1名
12月10日	令和7年度遠野市相談支援機関等スキルアップ研修会【VR研修会】	8名
12月12日	リコージャパン主催DXセミナー	1名
12月18日	令和7年度県南ブロック高齢者福祉協議会職員研修会	1名
12月22日～	令和7年度社会福祉経営者研修会～人事管理コース～(3日間)	2名
1月28日	令和7年度都道府県経営協セミナー	1名
1月29日	第117回社会福祉法人会計・経営セミナー	1名

10 視察・研修受け入れ状況（長寿の郷拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
6月23日～ 6月27日	専修大学北上福祉教育専門学校1年生	介護実習ⅠA	1名
7月30日	弁護士法人おかげ様	法人契約している顧問弁護士による巡回訪問	1名
8月20日～	日建学院	介護福祉士実務者研修の 為の会場(計7日間)	6名
11月17日～ 11月27日	岩手県立大学社会福祉学部2年	ソーシャルワーク実習Ⅰ	1名

11 防災訓練等実施（長寿の郷拠点全体）

対象	訓練事項	実施内容	回 数
新任職員	防災研修	施設内消防設備と防災マニュアル確認	5名
職員	消防訓練	職員による夜間想定避難訓練(複数回)	28名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	26名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	29名
職員	参集訓練	LINEと緊急連絡網の試行・参集、非常食試食	40名
職員	垂直訓練	地震想定の下階から上階への階段による避難訓練	40名
防災担当者	消防訓練	令和7年度モデル事業所防災訓練研修会参加(株式会社オサダ 岩手事業所)	1名

職員・利用者 消防団	総合防災避難訓練	消防立会いによる夜間想定避難訓練・ 消火訓練	25 名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	26 名
職員・利用者	災害避難訓練	地震・火災発生によるデイサービス避難訓練	29 名
職員	普通救命講習Ⅱ	心配蘇生法・異物の除去・止血・AED・試験	30 名
担当職員	設備等取扱研修	消火器初期消火訓練・煙体験	1 名

12 ボランティアの状況（長寿の郷拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
なし			

【4】特別養護老人ホーム遠野長寿の郷（短期入所）

1 実践目標

1. 思いやりのある介護の実践
2. 数値目標 稼働率 94% 月間収入目標 7,511,559 円 年間収入目標 90,138,710 円

2 実践目標の達成状況及び成果

1. 思いやりのある介護の実践

毎月 1 回利用者懇談会実施し、要望等を聞き取りしたがそれを月行事等に活かすことが不十分でした。しかし、普段会話が少ない方とじっくり話をしたり、日頃の職員の介護の仕方や接し方に関して思っていることを聞き取ることができたため今後も継続していきたい。満足度調査は 10 月実施しご家族様からは「普通」「満足」の回答を多く得られたが、より多くの「満足」の回答を得られるように自己研鑽していきたい。また「不満」の回答はなかったものの健康状態変化時のご家族への報連相に関し「やや不満」があったので改善に努めていきます。

毎月の行事は季節を感じられるような行事を企画し実施しました。また、日々のレクリエーション活動は今年度は定着化を目的とし行い、10 月～12 月は新型コロナや季節性の風邪等で中止した期間があったため実施率が 60%～70%になったが、それ以外は 80%～90%の実施率で定着化できたといえます。勉強会は「レクリエーション」「接遇マナー」「認知症」をテーマに行いました。レクリエーションは何のために行うか、目的や種類を勉強し日々のレク活動につなげることができました。接遇マナーは主に電話対応についての内容であり、日頃の電話対応には役立ったが、退所時にお渡ししているご利用報告書の書き方に関しては更に知識の習得が必要と感じました。認知症に関しては基本的な知識と技術を復習しました。

業務の見直しはムダ、ムラを無くすよう毎月の茅会議で議題にしたり、気付いた時に随時、検討と修正しながら行いました。

2. 数値目標

年間の目標稼働率 94%に対し、97.0%。収入目標 90,138,710 円に対し、92,851,065 円。

稼働率が上がった理由は、ケアマネとの空き情報を共有などでカバーできたことも大きかったです。利用希望は増えているので、利用のキャンセルが出た時の対応を迅速にする事で稼働率の維持をしていきたい。また、緊急利用の相談には積極的に対応できています。

利用者の傾向としては介護度の軽度化が顕著に見られます。要支援者や要介護度 1, 2 の利用が大幅に増加し、要介護度 3 以上が減少しています。そのため稼働率の上昇に対して、収入の上昇は緩やかになってきています。

3 運営状況

(1) 利用状況（令和7年3月～令和8年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要支援 1	実人員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.2
	延べ人員	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	0.67
要支援 2	実人員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4	0.3
	延べ人員	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	10	0.8
要介護 1	実人員	12	12	8	10	10	11	12	10	15	15	12	14	141	11.8
	延べ人員	112	117	76	75	70	90	81	47	103	93	83	106	1053	87.8
要介護 2	実人員	14	15	18	20	20	19	19	20	19	17	19	19	219	18.3
	延べ人員	113	122	156	202	190	153	150	142	130	174	165	146	1843	153.6
要介護 3	実人員	15	14	14	14	18	15	16	18	18	18	17	15	192	16
	延べ人員	195	202	200	201	255	203	230	263	267	238	201	214	2669	222.4
要介護 4	実人員	10	10	13	12	8	8	8	10	11	9	8	7	114	9.5
	延べ人員	100	133	191	144	141	141	135	92	114	102	112	133	1538	128.2
要介護 5	実人員	5	6	3	5	3	4	7	4	5	6	5	6	59	4.9
	延べ人員	28	51	16	37	19	31	46	25	48	67	54	64	486	40.5
合計	実人員	57	58	56	61	59	57	62	62	68	66	62	63	731	60.9
	延べ人員	552	630	639	659	675	618	642	569	662	675	617	669	7607	633.9
平均利用者数/日 稼働率(%)		18.4	20.3	21.3	21.3	21.8	20.6	20.7	19.0	21.4	21.8	22.0	21.6	-	20.8
		80.0	88.4	92.6	92.4	94.7	89.6	90.0	82.5	92.8	94.7	95.8	93.8	-	90.6

(2) 介護保険負担限度額認定証交付状況（令和8年3月末現在）

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
従来型個室	0	4	0	1	9
多床室	0	2	0	0	6
合計	0	6	0	1	15

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	令和8年9月16日
苦情の内容	担当ケアマネを通して報告ある。 利用者Aさんから「夜間トイレ頻回で呼んだら『何回トイレに起きるの?』と怒られそうでムキになって3回くらい一人でポータブルトイレを使ったと話がありました。大体の職員さんは『一人でやると危ないから呼んでね』と言うけど特定の人に怒られるとの話でした。「たしかに夜間はトイレが頻回になるので負担になってしまいますが本人に言うことによって無理に自力でやろうとして転倒の危険もでてくるので気を付けてもらえればと思います。自宅でも一

	人でやろうとして転倒していることも分かっていると思うので、そういうのも理解してもらえると助かります。」と連絡ある。
対 応	申出人へ連絡謝罪を行ない改めて内容を聞く。

受付月日	令和8年3月10日
苦情の内容	利用者 B さんの担当ケアマネから電話で報告ある。「家族から先日の件についていくつかお話ありました。着替えについては、着替えを用意していたが帰ってきたら肌着と普段着が 1 枚のみで寒そうに感じた。尿取りパットはお風呂のあとに交換したと思うがそれをずっと使っていたのか臭かった。食事のときに母が『1 度説明をするだけで手伝ってくれなかった』と言っていた」と話があったとのこと。 ケアマネからも施設内は暖かいから薄着だったのではと説明したが、そうだったとしても帰る時にはカーディガンなどを着せても良かったと思うと話があった。 その後、申出人へ連絡し、改めて内容を伺う。上記の内容の他に「以前からも母が言っていたが、特定の職員で嫌な人がいると話がある。話しかけたり、呼んだりしても無視する人がいるというのを以前から言っているのもその人に対しては正直腹が立っている」という主旨の話もあった。
対 応	謝罪をいれるため何度か連絡をとろうと試みるが着信拒否。 担当のケアマネから申出人もこれ以上話す事はないという主旨の話をしており、この件は収束でいいですと連絡ある。

5 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
該当なし		

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
該当なし		

6 行事实施状況

月 日	内 容	参加人数
4 月 18 日	お花見ドライブ	7 名
4 月 29 日	たこ焼き作り	19 名
5 月 20 日	輪投げ大会	10 名
6 月 24 日	玉入れ	14 名
8 月 15 日	スイカ割りをして楽しもう！	20 名
9 月 24 日	ドライブ 紫波	7 名
11 月 14 日	綿あめ作り	21 名

12 月 23 日	クリスマス会	18 名
1 月 22 日	ファミマ風クリーム白玉ぜんざい作り	20 名
2 月 17 日	紙芝居読み聞かせ	14 名
3 月 27 日	空気砲で的をねらおう！	13 名

【5】老人デイサービスセンター長寿園

1 実践目標

1. 選ばれ、楽しんでもらえるデイサービス

2. 年間稼働率 85%以上

数値目標 年間収入 59,400,000 円以上（月間 4,950,000 円以上）

2 実践目標の達成状況及び成果

目標に対し、稼働率および収入の面では目標達成に至りませんでした。主な要因として、ショートステイ利用の増加および長期化により通所利用の機会が減少したこと、また利用者の体調不良による休みが継続的に見られたことがあげられます。ショートステイの需要が高まってきていることは把握していたので、不定期利用の案内や代替えの利用の提案など対策は行いましたが、稼働率向上へは繋がりませんでした。

利用者一人ひとりの状況変化に対する早期対応や、継続利用につなげるための関わりなど、関係機関への情報提供はこまめに行いました。また利用者の状態の問い合わせにも、情報提供できるように記録の充実を図ることができました。併せて、定期的に空き状況や、見学・体験利用の案内なども各事業所に連絡し、新規利用者獲得にも努力しました。

活動提供においては、利用者一人ひとりの興味や身体状況に配慮しながら、季節感のあるレクや日常生活に楽しみを感じられる内容の充実に取り組みました。また、参加しやすい雰囲気づくりや声掛けを意識し、無理なく関われるよう工夫することで、活動を通じて笑顔や交流の機会が増えるよう努めました。

3 運営状況

(1) 利用状況（令和7年4月～令和8年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要支援1	実人員	6	5	4	4	4	5	6	4	4	3	3	4	52	－
	延べ人員	24	16	16	17	17	23	24	16	14	12	11	14	204	－
要支援2	実人員	4	4	5	4	3	3	4	4	4	4	4	4	47	－
	延べ人員	24	25	24	27	11	14	28	28	27	27	26	25	286	－
要介護1	実人員	21	19	20	19	20	21	20	21	21	19	19	19	239	－
	延べ人員	133	121	126	128	118	138	141	155	155	130	122	140	1067	－
要介護2	実人員	23	23	24	24	22	22	20	21	22	21	23	23	289	－
	延べ人員	205	216	231	237	223	215	203	193	189	204	199	231	2546	－
要介護3	実人員	12	12	12	12	10	10	10	11	12	12	12	10	135	－
	延べ人員	99	92	105	106	79	87	86	78	82	84	73	89	1060	－
要介護4	実人員	4	5	5	5	6	7	5	5	5	4	4	3	55	－
	延べ人員	34	39	45	51	51	55	34	33	31	30	27	17	447	－
要介護5	実人員	2	4	4	4	5	3	4	4	5	5	7	3	50	－
	延べ人員	6	11	19	28	33	24	25	25	30	37	44	9	291	－
合計	実人員	72	72	70	72	70	71	69	70	73	68	72	66	867	－
	延べ人員	525	520	565	593	532	556	541	528	528	524	502	525	5901	－
平均利用者数/日		26	26	26	27	26	27	27	26	25	25	24	27	312	
稼働率(%)		83.7	82.6	89.5	90.7	84.5	82.4	81	84.6	80.3	79.5	80.0	80.7	83.2	

※要支援1に事業対象者を含んでいます。

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	令和7年5月5日
苦情の内容	活動で買い物支援に参加したが、レシートを確認すると持参金よりも多く買い物をし、超過分がポイント支払いになっていた。本人はカードを持っていないはずなので誰が支払ったのか。経緯を説明してほしい。
対応	対応した職員から聞き取りを行い、ポイント払いになった経緯を報告。今後は金銭管理の手順書作成と周知、職員の報告・連絡・相談を迅速に行う意識付け、行動で示していくことを伝える。

受付月日	令和7年10月22日
苦情の内容	デイ通信で「感染予防のためマスク着用」を呼び掛けているが、送迎に来た運転手がマスクをしていないのはなぜか
対応	感染流行時期は、職員もマスク着用は必須になる旨伝え、運転を依頼しているサポート物産にもマスク着用を改めてお願いする。

5 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

6 行事実施状況

月 日	内 容	参加人数
4 月	軽体操・頭の体操・ゲーム運動・花見ドライブ・おやつ作り 買い物ドライブ	-名
5 月	ゲーム運動・頭の体操・春の大運動会・園芸・産直ドライブ 買い物ドライブ・おやつ作り	-名
6 月	ゲーム運動・ドライブ・おやつ作り・頭の体操・作品作り	-名
7 月	買い物・作品作り・ゲーム体操・おやつ作り・頭の体操	-名
8 月	作品作り・ドライブ・ゲーム運動・おやつ作り・DVD鑑賞 高校野球観戦・ボッチャ・スカットボール	-名
9 月	ドライブ・ゲーム運動・作品作り・おやつ作り・座談会 頭の体操・お楽しみ会	-名
10 月	ゲーム運動・作品作り・おやつ作り・買い物・お楽しみ会 頭の体操・DVD鑑賞	-名
11 月	ドライブ・作品作り・頭の体操・おやつ作り・お楽しみ会 ゲーム運動・DVD鑑賞	-名
12 月	DVD鑑賞・ドライブ・作品作り・おやつ作り・買い物 お楽しみ会・ゲーム運動	-名
1 月	初詣・ゲーム運動・頭の体操・正月遊び・おやつ作り 作品作り	-名
2 月	節分行事・作品作り・おやつ作り・ゲーム運動	-名
3 月	お雛様行事・ゲーム運動・おやつ作り・座談会 一年の振り返り・カラオケ・頭の体操	-名

【6】居宅介護サポートセンター長寿園

1 実践目標

1. ケアマネジメントの質を高める。
 2. 業務の効率化と業務管理体制の強化。
 3. チームとしての支援体制向上。
- 数値目標 年間収入目標 18,000,000 円以上（月平均：15,000,000 円以上）

2 実践目標の達成状況及び成果

令和7年度は6年度同様の目標を立てながら、個々のケアマネジメント技術向上のための研修参加や他事業所との事例検討会を取り入れてきました。週1回程度、事業所内での伝達会議内で事例検討会を行い世帯の共有、支援方法について議論してきました。加えて、他事業所と包括支援センターと共同で事例検討会を実施し、他事業所のケアマネがどのような視点で課題分析するのか学ぶことができました。家族関係の希薄・介護力の弱さ・困窮・認知症で独居等、様々な課題を抱えた世帯に対して、地域や親族・行政と多職種で支援していくマネジメントを当たり前に行えるようになりました。伝達会議以外でもケースの相談や共有を事業所内で行いながらケアマネジャー個人の負担軽減を図っています。また、同行訪問を行い世帯状況の確認や緊急時の対応に備えたことで担当ケアマネジャーが対応できないときは事業所内のケアマネジャーが訪問・対応することが出来ました。

業務の効率化については、ケアカルテの業務マニュアルを作成しました。請求業務やデータ連携機能について居宅ケアマネが誰でも操作できるように整備を行いました。これから益々、データ連携や AI 機能を取り入れた業務に代わっていくことから、業務の見直しは今後も継続して行っていきたい。特にケアマネジャーがの負担としている業務としてモニタリング訪問記録、担当者会議録があげられます。記録が短縮されることでアセスメントやケアプラン作成、新規利用者の書類作成に時間をあてられることに期待しています。

ケアプラン作成件数は（介護給付費、予防給付費）月平均 112 件。介護度別でみると要支援 1・2 が 235 件（前年度比▲37 件）、要介護 1・2 が 801 件（前年度比△39 件）、要介護 3・4・5 が 307 件（前年度比▲10 件）でした。月平均給付件数については 92.3 件と目標件数と収入目標を達成できました。新規契約の時点で 85 歳以上、認知症、独居、心不全増悪、癌末期が多く長期的な支援とならない傾向がみられます。認知症で独居生活している利用者については、身体的な要素と認知機能によって一人暮らしが困難となり施設へ繋げる支援が多くみられました。

3 運営状況

（1）利用者の状況

利用登録者の要介護度件数（令和8年3月31日現在）

（件）

介護度	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
件数	0	10	8	43	28	9	12	4	114

（2）要介護度別給付管理状況

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
給付合計	89	89	92	93	91	95	90	95	93	92	93	96	1108	92.3
初回加算	2	4	4	4	4	9	2	6	6	2	7	4	54	4.5

要介護 1	40	39	40	39	36	40	40	42	41	40	41	43	481	40.0
要介護 2	25	24	26	29	27	29	26	26	25	26	29	28	320	26.6
要介護 3	12	10	9	8	10	10	9	11	12	9	7	9	116	9.6
要介護 4	8	10	11	12	12	12	12	12	11	13	11	12	136	11.3
要介護 5	4	6	6	5	6	4	3	4	4	4	5	4	55	4.5

(3) 介護予防受託状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
受託件数	22	20	20	21	21	20	20	20	19	17	17	18	235	19.5
非該当	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	7	0.5
要支援 1	7	6	6	8	9	9	10	9	9	8	8	10	99	8.25
要支援 2	13	13	13	12	11	10	10	11	10	9	9	8	136	11.3

(4) 認定調査受託状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
受託件数	6	9	6	4	6	5	4	8	6	6	8	6	74	6.1

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対応	

5 施設外研修・会議状況

月 日	研 修 内 容	参加人数
毎月 1 回	定例居宅会議	
毎月 4 回	居宅伝達会議 ・ 支援困難事例検討会 / ・ 地域における事業者や活用できる 資源の状況 / ・ 保険医療および福祉に関する諸制度について / ・ ケアマネジメントに関する技術 / ・ 苦情についての検討会等	
6 月 10 日	「医療と介護の連携に関する情報交換会」 主催：遠野市ケアマネジメント推進委員会/遠野市	3 名
6 月 10 日	法人内相談員研修 「適切なケアマネジメントの手法について」	3 名
7 月 9 日	かなえケアマネステーション合同事例検討会 事例提供者（多田剛）	3 名
9 月 11 日	遠野市介護支援専門員等研修会 「オーラルフレイル・口腔ケアについて」 「オーラルフレイル予防 誰にでもできる口腔機能チェック」	3 名
9 月 11 日～ 12 日	主任介護支援専門員更新研修（新田育子）	

9月18日～ 19日	介護支援専門員更新研修Ⅱ（多田剛）	
10月	法人内相談員研修 「ACP 理解について」	3名
11月11日	「事例検討会」～多問題世帯の事例～ 主催：ケアマネジメント推進委員会（居宅長寿園・宮守）	3名
R8年1月15 日	「栄養ケア・マネジメント研修」 主催：ケアマネジメント推進委員会	3名
2月3日	「身寄りのない方への支援を考える研修会」 主催：遠野市地域包括支援センター	3名
2月16日	「横断的なひきこもり支援研修会」 主催：遠野市社会福祉協議会	2名
3月23日	丸ごと相談員 事例報告会	1名

6 その他

月 日	内 容
9月8日	安心サポート事業相談対応 ・世帯で収入がなく透析通院するための所持金を持ち合わせてないため生命に危険が生じている事例

【7】生活支援ハウス長寿園

1 実践目標

1. 家庭的な雰囲気を保ち、利用者が在宅での生活をそのまま継続できるように努める。
2. 入所受け入れの際は遠野市と連携を密にし、利用率の向上に努める。
3. 数値目標 年間収入目標（受託予算） 11,200,000円

2 実践目標の達成状況及び成果

今年度も例年と同様に、冬季間に凍結や積雪により在宅生活が一時的に困難になる方で12月頃から3月頃まで利用が多く、4月～11月頃には計画的な申し込みが少なく、緊急的に利用される方がいる傾向でした。冬期間は1月で満床になりましたが、市の担当者からはキャンセルが数人続いた事や申込者が減少しているとの話がありました。

冬期間以外の内容としては、退院後に在宅復帰へ向けた練習期間、同居家族の入院による利用や同居家族とのトラブルでの利用などがありました。

生活支援ハウス入所中に体調を崩し入院となった方が数名おりましたが、近くに身寄りがいない方も多く、遠野市や担当ケアマネなどと連携を取りながら早期の受診に繋がれたと思います。ただ、緊急時の対応方法は個別で検討しておいた方が迅速な対応に繋がれる事やトラブル予防にもなると思うので、今後の課題として挙げられます。

数値目標に対しては11,616,950円と達成しています。

3 運営状況

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
自立	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	3	3	13	1.1
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	90	93	84	61	328	27.3
要支援 1・2	実人員	2	1	1	2	1	0	0	2	5	6	5	6	31	2.6
	延べ人員	25	25	5	46	31	0	0	38	84	182	140	111	687	57.2
要介護 1	実人員	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	2	2	8	0.67
	延べ人員	30	17	0	0	0	15	0	0	31	31	56	60	223	18.6
要介護 2	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 4	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 5	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	実人員	3	1	1	2	1	1	0	2	10	10	10	11	52	4.3
	延べ人員	55	25	5	46	31	15	0	38	205	306	280	232	1238	103.2
平均利用者数/日 稼働率 (%)		1.8	0.8	0.2	1.5	1.0	0.5	0	1.2	6.6	9.9	10	7.5	3.4	-
		18.3	8.0	1.7	14.8	10.0	5	0	12.6	66.1	98.7	100	74.8	33.9	-

(2) 利用者の世帯構成

	独居	夫婦のみ	その他	合計
男	3	1	1	5
女	11	0	0	11
合計	14	1	1	16

【8】養護老人ホーム長寿の森 吉祥園

1 実践目標

1. 利用者の個性を理解し、それぞれの専門性を活かした個別ケアを実践する。
2. 数値目標 1日付措置率 100% 稼働率 98%
月間収入目標 11,334,000 円以上（措置費＋特定基本分）
年間収入目標 136,128,000 円以上（措置費＋特定基本分）

2 実践目標の達成状況及び成果

今年度の目標は、「利用者の個性を理解し、それぞれの専門性を活かした個別ケアを実践する」とし、『未来の私がしたいことシート』の作成に取り組みました。利用者の生活歴や希望・嗜好・終末期の希望などの確認したい内容を決め、関わりが深い内容を部署ごとに確認しました。普段の生活から知ることができなかった利用者の希望や思いを聴くことができました。まだ全利用者のシートは完成していないので、来年度中に完成させて支援に活用し、利用者の希望を叶えていきたいです。

各行事では、実行委員会を立ち上げての行事を6回（クリスマス忘年会は新型コロナウイルス感染症対策中だったため中止）実施しました。今年度も利用者参加型を意識し、歌や踊り、レクリエーションなどを組み込んだ行事を企画しました。司会や挨拶、指揮者など利用者に役割を持って参加していただきました。自立から要介護度5の利用者が生活されていることからできることに差はあるが、一緒に歌ったり踊ったりする姿が見られ、楽しい雰囲気で行事を行なうことができました。その他には、各丁お楽しみ会を合計6回、クラブ活動、季節ごとのドライブを実施しました。季節ごとのドライブは3回実施したが、いずれも8割以上の利用者が参加され外出を楽しみにされていることがよく分かりました。

今年度は、30分程度の研修や訓練を実施することを予定にしていました。年度初めは、認知症や精神障害についての動画研修を企画し実施していましたが、途中から職員体制が減少し研修時間の確保が難しくなり実施できませんでした。来年度も隙間研修の実施を実践項目としているので計画的に取り組んでいきたいです。

数値目標は、1日付措置率 100%・稼働率 98%に対して、1日付措置率 99.83%・稼働率 98.38%でした。稼働率に関しては令和6年度が 96.24%だったので、約2%上げることができました。今年度は、入院者が12名（前年度18名）と前年度より少なかったです。入院者の減少と入院期間が短かったことが稼働率アップにつながりました。

今年度は、9月より介護保険の指定を受けている特定施設入居者生活介護を外部サービス利用型から一般型に転換した。このことにより、年間収入目標を136,128,000円から164,762,000円に上方修正した。12月に新型コロナウイルス感染症が発生したが、減収することなく安定した収入を得ることができ、年間収入が174,575,968円と目標を達成できた。

一般型に転換したことにより算定できる加算も増えたため、来年度は算定している加算を職員が理解し、必要な研修を実施する予定である。

3-1 養護老人ホームの運営状況

(1) 長期入所者状況 (定員 50 名)

項目	数
各月 1 日付け平均入所者数	49.9 人
年平均稼働率	99.83%
1 日平均利用者数	49.19 人
年平均稼働率	98.38%
延べ利用人数	17955 人

※ 1 日平均利用者数は、入院者及び措置解除者数を減じた数

(2) 短期入所者状況 (定員 2 名)

項目	数
一日平均利用人数	0.54 人
延べ利用人数	198 人
年平均稼働率	27.12%

(3) 年度別入退所者数 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

入所者数			退所者数			退所者数内訳
男	女	計	男	女	計	死亡退所 7 名
0	8	8	3	7	7	

(4) 月別入退所状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入 所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	8
退 所	男	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4
	女	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
月初 (1 日) 入所者数		50	50	50	49	50	50	50	50	50	50	50	50	

(5) 措置機関別入所者数 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

	遠野市	釜石市	大船渡市	大槌町	計
男	13	1	0	0	14
女	34	2	0	0	36
計	47	3	0	0	50

(6) 年齢別数 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

	満 65 歳未満	66～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	計	平均年齢
男	0	1	3	5	3	1	1	14	79
女	0	0	1	2	8	6	19	36	89

計	0	1	4	7	11	7	20	50	86
---	---	---	---	---	----	---	----	----	----

(7) 介護度別入所者数（令和8年3月31日現在）

	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	6	0	0	4	2	1	1	0	14
女	2	1	1	19	3	5	3	2	36
計	8	1	1	23	5	6	4	2	50

(8) 障害者等加算者・病弱者加算者数（令和8年3月31日現在）

	障害者等加算	病弱者加算
男	3	6
女	2	14
計	5	20

(9) ショートステイ利用状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	0	1	1	3	2	0	0	1	3	2	15

(10) 利用者の費用負担状況（令和8年3月31日現在）

	徴収基準月額	男	女	計
1	0円	1	2	3
2	1,000円～4,700円	0	0	0
3	5,000円～9,100円	0	1	1
4	10,800円～19,100円	2	7	9
5	20,800円～27,500円	2	4	6
6	30,800円～39,800円	3	6	9
7	41,800円～49,800円	5	7	12
8	51,800円～59,800円	0	4	4
9	62,400円～81,100円	1	3	4
10	81,100円以上	0	2	2
合 計		14	36	50

備考 上記の該当費用徴収基準月額の上限は、140,000円。

3-2 外部サービス利用型・一般型指定特定施設入居者生活介護事業の運営状況

(1) 利用者数

	外部サービス利用型					一般型						
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
男	9	9	9	9	9	7	7	7	7	7	7	6
女	22	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	24
合計	31	31	31	32	32	30	30	30	30	30	30	30

(2) 要介護度別利用者数（令和8年3月31日現在）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	3	1	1	1	0
女	11	3	4	4	2
合 計	14	4	5	5	2

4 利用者の事故とその対応について（長寿の森拠点全体）

(1) 事故発生状況（令和7年4月～令和8年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	15	6	9	3	14	7	15	7	17	9	5	6	113
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
誤薬	1	1	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	7
暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷・あざ	2	0	0	0	8	1	5	4	3	1	2	3	29
その他	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	1	9
合 計	20	8	10	5	23	10	21	12	23	11	8	10	161

(2) 事故への対応

今年度は、転倒骨折4件の事故を県南広域振興局・措置権者に報告しました。

リスクマネジメント委員会の安全担当委員を中心に、各事故に対して原因究明し対応策を立て支援しています。

5 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	令和8年2月17日
苦情の内容	短期宿泊をご利用された利用者より、夜勤職員の対応についての苦情があった。 ナースコールを押したら、職員に「ナースコールを押したのが悪い」といったようなことを言われた。また、排泄に失敗した時も、「これで3回目だよ」と言われた。衣類を交換する時も、「(車いすに)座りなさい。座って」と3回も言われた。「せっかく着替えて良い事しているのにありがたいと思わないの?」とも言われた。 自分も反論して怒ったからなのか、忙しくて虫の居所が悪かったのか分からないが、笑い顔もなく不機嫌だった。自分は、いろいろな所(病院や施設)で見てきたが、今まで見たことがなかったので驚いた。自分も怒って言い返したのは悪かったかもしれないが驚いた。
対 応	17日に夜勤明けで対応した職員2名それぞれから事実確認をしたところ苦情として挙げられた内容通りの対応だった。 利用者には、職員の対応や言葉遣いが悪かったことを謝罪し、対応

	した職員に態度や言葉遣いを改めるよう注意した。
--	-------------------------

6 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

7 施設・設備等の改善について（長寿の森拠点全体）

月 日	内 容
8月25日	スチームコンベクションオープン更新 1,078,000円（税込）

8 行事実施状況

月 日	内 容	参加人数
4月16日～	お花見ドライブ（釜石/遠野）	41名
4月20日	観桜会	49名
5月27日	1丁目お楽しみ会（ばんがり出張ラーメン）	21名
6月15日	運動会	49名
6月27日～	新緑ドライブ（宮守）	40名
7月3日	3丁目お楽しみ会（歴史公園えさし藤原の郷）	10名
8月2日	夏まつり	45名 ご家族12名
9月18日	敬老会	50名
9月30日	2丁目お楽しみ会（魚河岸テラス）	13名
10月8日	1丁目お楽しみ会（土淵方面ドライブ）	5名
10月23日～	紅葉ドライブ	43名
10月24日	1丁目お楽しみ会（綾織～宮守方面ドライブ）	5名
10月30日	味覚祭	50名
11月7日	3丁目お楽しみ会（みずかみ買物・まるまつで食事）	7名
12月22日～	吉祥園サンタ（土淵・青笹・上郷保育園、青笹小学校）	2名
1月8日	白樺会新年会	50名
2月3日	節分行事（豆まき・のり巻きづくり）	50名
3月3日	ひな祭りお茶会	51名

9 会議・研修実施状況（長寿の森拠点全体）

(1) 会議実施状況

会 議 内 容	回数
全体会議	8 回
主任者会議	11 回
リスクマネジメント委員会兼虐待防止検討委員会	11 回
安全担当会議	11 回
感染症担当会議	11 回
身体拘束及び高齢者権利擁護担当会議	10 回
介護会議	12 回
厨房会議	11 回
給食委員会	7 回
ヘルパー会議	11 回
デイ会議	12 回

(2) 施設内研修実施状況

月 日	研 修 内 容	参加人数
5 月 26 日	虐待防止策～感覚麻痺や鈍感さを生み出さないために～	27 名
6 月 23 日	熱中症・食中毒その予防法と対処法について・吐物処理（実技）	31 名
10 月 7 日	虐待・身体拘束の研修	22 名
10 月 27 日	サルコペニアと栄養	27 名
11 月 17 日	高齢者虐待・権利擁護（不適切ケア）	27 名
1 月 26 日	介護事故の原因分析と再発防止策の検討 動画研修 グループワーク	21 名
2 月 24 日	身体拘束 ドラッグログ・虐待のグレーゾーンについての動画 研修・グループワーク	20 名
3 月 23 日	施設における集団感染への対策 動画研修 食中毒予防マニュアルの確認	22 名

(3) 施設外研修

月 日	研 修 内 容	参加人数
5 月 6 日	全国老施協養護経営改革推進セミナー	1 名
5 月 12 日	介護事業所 BCP 運用セミナー	1 名
7 月 25 日	安心サポート相談員養成研修	1 名
9 月 18 日～19 日	東北ブロック福祉大会	2 名
10 月 21 日	冷凍完調理の活かし方セミナー	2 名
10 月 29 日～	令和 7 年度岩手県認知症介護実践者研修	1 名
10 月 31 日	介護施設職員研修会	1 名
11 月 21 日	養護部会生活相談員連絡会研修	2 名
1 月 14 日～	権利擁護推進員養成研修	1 名

1 月 28 日	経営協セミナー	1 名
2 月 13 日	労働安定センター賛助会員講演会	1 名
2 月 27 日	ケアテックス（東京セミナー）	3 名

10 視察・研修受け入れ状況（長寿の森拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
月 日	なし		名

11 防災訓練等実施（長寿の森拠点全体）

対象	訓練事項	実施内容	回 数
職員		消火器・消火栓の場所の確認	5 回
職員	連絡網訓練	訓練の事前情報がない状況でどのくらいの時間で緊急連絡網の伝達ができるかの訓練	1 回
職員	通報・避難誘導	夜勤帯の火災を想定し、マニュアルに沿って通報から避難誘導までの訓練を実施。	4 回
職員 利用者	総合避難訓練 （夜間想定）	消防署職員立ち合いのもと、夜間帯を想定し、通報・避難誘導の訓練を実施。	1 回
職員	救命講習	普通救命講習Ⅱ	4 回

12 ボランティアの状況（長寿の森拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
月 日	なし		名

【9】デイサービスセンター長寿の森 踊鹿

1 実践目標

1. 利用者お一人おひとりの人権を尊重し、包括的支援体制を構築する。

数値目標

稼働率 86%以上（1日利用平均26名以上）

月間収入目標 5,060,000円

年間収入目標 60,720,000円

2 実践目標の達成状況及び成果

実践目標 1. 「利用者お一人おひとりの人権を尊重し、包括的支援体制を構築する。」については、実践項目ア.利用者の行事、楽しみの提案の充実。イ.利用者、家族等の満足度向上。ウ.安心、安全の環境整備、業務の見える化。の3つを実践項目としました。

ア・については、毎月開催しているお茶会で利用者の行きたい場所や食べたいものの要望を聞き、おやつ作りやドライブで取り入れることが出来ました。また買い物もスーパーだけでなく利用者の希望に応じて対応することもできました。行事もイベントや天候に合わせて臨機応変に取り組みました。

イ・については、令和7年度は家族懇談会を開催し、ご家族にデイでの活動の様子や雰囲気を見学して頂きました。家族との情報共有を行うことで、利用者個々に合った支援へつなげることが出来ました。おどろかだよりの内容も変更し、情報共有・発信の通信として活用することが出来ました。

ウ・については、8月にワックスがけを行ない、模様替えをして環境を整えた。季節を感じられる装飾を利用者と作り、玄関やホールに展示できました。技能実習生2年目となり業務も自ら考え行えるようになっていきます。

令和6年度は新型コロナのクラスター発生や台風接近に伴う悪天候により営業を休業することがありましたが、令和7年度は休業することなく、1年間営業を続けることができました。併せて、12月30日には入浴希望者を対象に臨時営業を行っています。また、併設施設の吉祥園が外部サービス利用者特定施設入居者生活介護から一般型に転換したことに伴い、デイサービス利用が令和7年8月をもって終了となっています。

上半期は稼働が良かったが、下半期に入り、自宅で転倒骨折や持病の悪化に伴う入院者が増え、そのまま契約が解除になるケースが多かったです。新規の受入れや利用回数を増やす等の対応を行うも、契約解除のカバーまでは及ばず、稼働を下げる結果となりました。

数値目標について、稼働率86%以上（1日利用平均26名以上）に対し、平均稼働率82.9%（1日利用平均24.9名）となりました。月間収入目標5,060,000円、年間収入目標60,720,000円に対し、平均月間収入が5,110,421円、年間収入が61,325,056円となりました。稼働率は未達成でしたが、収入は目標達成となりました。要因の1つとして、要介護2と要介護4の延べ利用回数が多かったことが考えられます。

令和6年9月から外国人技能実習生1名が配属され、1年半以上経過しています。日常業務に

もなれ、日本語も上達し、ご利用者様とのコミュニケーションも上手くなっています。引き続き、日常生活での分からない事や困り事のフォローなど、デイサービスの職員みんなで協力し、サポートを行っています。

3 運営状況

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
事業 対象者	実人員	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	4	2	20	1.7
	延べ人員	5	4	4	5	3	4	5	6	8	13	12	8	77	6.4
要支援 1	実人員	16	15	14	14	14	13	14	12	12	12	12	11	159	13.3
	延べ人員	64	58	53	60	47	48	58	46	49	43	47	46	619	51.6
要支援 2	実人員	13	14	14	15	15	15	14	13	13	11	12	14	163	13.6
	延べ人員	93	95	93	96	81	102	99	88	89	77	80	95	1016	84.7
要介護 1	実人員	34	35	32	33	33	27	28	27	26	24	24	25	348	29.0
	延べ人員	271	263	250	284	279	228	225	229	215	186	195	220	2845	237.1
要介護 2	実人員	10	10	12	12	12	12	10	10	11	13	13	14	139	11.6
	延べ人員	101	108	110	121	121	118	108	96	106	117	111	143	1360	113.3
要介護 3	実人員	9	9	9	8	8	9	9	8	6	4	4	3	86	7.2
	延べ人員	71	84	87	80	85	88	92	71	53	36	34	34	815	67.9
要介護 4	実人員	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3	39	3.3
	延べ人員	22	36	31	36	35	34	31	38	51	46	39	34	433	36.1
要介護 5	実人員	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	25	2.1
	延べ人員	40	41	37	36	31	29	30	30	29	25	28	25	381	31.8
合計	実人員	87	89	87	89	88	82	81	78	76	73	75	74	979	81.6
	延べ人員	667	689	665	718	682	651	648	604	600	543	546	605	7618	634.8
平均利用者数/日 稼働率 (%)		25.7	25.5	26.6	25.5	27.3	25.0	24.0	24.1	25	22.6	22.8	23.3	298.2	24.9
		85.7	85.0	88.7	84.9	91.0	83.5	80.0	80.5	83.3	75.4	75.8	77.6	995.2	82.9

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対 応	

5 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

6 行事实施状況

月	内 容
4 月	蹴って倒してパーフェクト・脳トレ・お花見ドライブ・カラオケ
5 月	タオルでポン・産直ドライブ・サッカー・カラオケ
6 月	言葉あそび・紙皿フリスビー・新緑ドライブ
7 月	シーツで風を起こそう・産直ドライブ・春の運動会・脳を動かせ頭スッパリ
8 月	スカットボール・ボーリング・花見ドライブ・カラオケ・絵合わせゲーム
9 月	紙コップタワー・小豆つかみ・名所めぐりドライブ・敬老会
10 月	栗おとし・秋の運動会・産直ドライブ・カラオケ
11 月	足を広げて並べ替え・鑑賞会・うちわ風船バレー・紅葉ドライブ
12 月	玉色分けゲーム・脳トレ・クリスマス会・紅白歌合戦・忘年会
1 月	初詣・新年会・書き初め・すごろく遊び・カラオケ
2 月	おいでおいでゲーム・豆まき・鬼退治・○×クイズ・輪投げ
3 月	ひな祭り見学・テーブルテニス・ハンドマッサージ・文字カルタ

【10】ヘルパーステーション長寿の森

1 実践目標

1. 住み慣れた自宅で安心した生活を送ることができている
2. 外部サービスを利用し、吉祥園で安心して生活することが出来る

数値目標

月間収入目標	3,250,000 円（受託 2,600,000 円	在宅 650,000 円）
年間収入目標	39,000,000 円（受託 31,200,000 円	在宅 7,800,000 円）

2 実践目標の達成状況及び成果

【在宅】

『住み慣れた自宅で安心した生活を送ることができている』を実践目標として取り組みました。前年度 10 月から在宅担当の職員が 2 名体制となり、休日の確保のため日曜日の訪問を無くして営業しました。こまめに利用者の情報共有を行ないながら訪問するとともに、居宅ケアマネへの営業活動も行ってきましたが、中々新規の依頼が無く、施設入所や死亡により利用者が減少する傾向にありました。

9 月より受託の訪問がなくなり、在宅訪問のみとなったため、職員体制を変更しました。ほとんどが吉祥園の介護職員に配置替えとなり、常勤 2 名と 5 時間パート 1 名が事業所に残りました。依然として利用者は増えず、9 月の収入目標を 550,000 円に下方修正したが、その 89%の 490,000 円程度に留まりました。加えて常勤職員の内、1 名が 11 月後半から病気治療で休職することとなったため、収入の確保や職員体制の維持が難しい状況となりました。そのため、12 月末を持って事業を休止することを決め、利用者、ご家族、担当ケアマネジャーに事情を説明し、12 月までに他事業所の訪問介護を利用して頂くよう調整しました。

【受託】

『外部サービスを利用し、吉祥園で安心して暮らすことが出来る』を目標とし、利用者に適切なサービスが提供出来るよう、具体的には申し送りやカンファレンスで利用者の情報を共有し、サービス内容の変更や追加を行いました。決定した内容については、ケアカルテや申し送りノートで職員へ周知し統一した対応ができるよう努めました。

今年度は月間収入目標を前年度よりも 100,000 円下げ、月間 260 万円としていましたが、死亡退所や転倒骨折での入院もあり、達成できたのは 7 月のみでした。

要介護度が高く、介助量の多い利用者が吉祥園で生活を続けていくには、浴室の環境等ハード面での対応が難しいため、特養への施設替えや状態の変化に伴う入院・看取り・死亡退所となる方も多くなることから、サービス内容を見直しても収入に結びつかない状態が続きました。

このような状況の中、吉祥園が安定運営のために 9 月から外部サービス利用型特定施設入居者生活介護から一般型へ移行したことから、受託サービスの提供は終了しています。

数値目標に関しては、在宅サービス・受託サービスを合わせて目標金額が 43,800,000 円に対

し、在宅：7,780,087 円、受託：30,091,390 円、計：37,871,477 円の収入でした。達成率は 86.5% という結果でした。

3-1 在宅サービスの運営状況

(1) 利用者の要介護度（令和 7 年 1 2 月 3 1 日現在）

	事業対象 要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	2	1	0	0	0	0	3
女	6	2	0	0	0	0	8
合計	8	3	0	0	0	0	11

(2) 利用状況（介護区分別 回数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月				合計
身体介護	13	12	18	10	6	7	11	5	2	-	-	-	305
身体・生活	67	72	73	73	62	61	66	27	12	-	-	-	513
生活援助	0	0	3	6	3	2	0	1	3	-	-	-	18
訪問型独自	38	31	40	34	32	47	23	27	33	-	-	-	305

3-2 受託サービスの運営状況

(1) 利用者の要介護度（令和 7 年 8 月 3 1 日現在）

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	4	1	2	0	2	9
女	0	10	5	5	2	1	23
合計	0	14	6	7	2	3	32

(2) 利用状況（介護区分別 回数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月								合計
身体 介護	1922	2067	1990	2110	2039	-	-	-	-	-	-	-	10128
生活 援助	558	586	582	600	558	-	-	-	-	-	-	-	2884

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対応	

【11】小規模多機能型居宅介護事業所長寿庵

1 実践目標

1. 職員の意欲やスキルを高め、質の良い介護サービスを提供する。
2. 地域に必要とされる事業所。
3. 利用者の思いに耳を傾け、有意義な生活を送れるように支援する。

数値目標

稼働率（登録者） 80%以上

月間収入目標 6,400,000円以上

年間収入目標 76,800,000円以上

2 実践目標の達成状況及び成果

実践目標の「職員の意欲やスキルを高め、質の良い介護サービスを提供する。」については、長寿庵会議の中で生産性向上の取り組みの一環として業務の見直しを行い、効率化を進めることが出来ました。人材育成に関しては計画的に内部研修を実施すると共に、個人のスキルアップのため外部研修に参加することが出来ました。特に高齢者の権利擁護についての取り組みで虐待の芽チェックを実施し評価・検討することで職員への意識付けが出来ました。

実践目標の「地域に必要とされる事業所。」に関しては、2か月に1回開催される運営推進会議で挙げられた課題について参加者それぞれの立場で意見を出し合いながら課題解決に取り組むことが出来ました。又、行事への参加や地区の総会へ参加、地域住民参加の防災訓練を開催することで、長寿庵の役割を知ってもらうと共に、もっと広く住民の方々に施設の特徴を知ってもらうための取り組みとして年度初めに材木町の全戸にチラシを配布しました。今年度は新たな取り組みとして長寿庵主催の夕涼み会を企画・開催し地域の子どもたちや住民の方々に参加して頂くことが出来ました。

実践目標の「利用者の思いに耳を傾け、有意義な生活を送れるように支援する。」に関しては、担当職員を中心に希望・要望を聞きながら対応することが出来ました。また、これまでになかった試みとして毎月1回開催する通年の行事を3種類企画し、行事開催回数も約1.5倍と大幅増となりました。

数値目標に関しては、稼働率（登録者）80%以上に対し84.6%、月間収入目標6,400,000円以上に対し6,670,115円、年間収入目標76,800,000円以上に対し、80,041,380円と稼働率・収入ともに達成することが出来ました。

3 運営状況

（1）月別登録者状況（実人員）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	述べ人数 合 計
要支援1	1	1	1	2	3	2	2	1	2	1	3	4	23
要支援2	1	2	3	3	3	3	2	2	1	0	0	0	20

要介護 1	4	6	6	6	9	11	11	10	12	9	12	12	108
要介護 2	4	5	6	5	4	4	4	3	2	6	6	6	55
要介護 3	7	7	7	7	7	7	6	4	4	5	5	5	71
要介護 4	3	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1	22
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	20	23	25	25	28	29	27	21	22	23	28	28	

(2) 月別利用状況 (サービス提供回数)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	月平均 合 計
通 所	144	169	170	202	213	233	221	181	168	140	160	173	2,174
訪 問	433	497	496	595	550	566	519	424	391	334	419	571	5,795
宿 泊	136	215	235	254	237	247	268	201	236	271	244	258	2,802

(3) 月別新規受け入れ及び終了者の状況

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	月平均
登録件数	5	3	5	4	4	4	0	2	4	4	5	1	3.4
終了件数	7	1	2	4	2	3	2	8	3	3	0	1	2.6

(4) 年齢構成 (令和 8 年 3 月 31 日現在 28 名)

区 分	59 以下	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	合 計
男	0	0	2	0	2	1	2	6	13
女	0	0	0	0	2	2	5	6	15

4 利用者の事故とその対応について(長寿庵拠点全体)

(1) 事故発生状況 (令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	6	2	2	1	1	1	3	0	3	2	4	1	26
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	1	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	6
暴力	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷・あざ	1	1	1	1	2	2	1	0	2	0	1	0	12
その他	3	0	1	2	0	0	2	0	1	0	0	0	9
合 計	11	5	4	6	3	4	7	1	7	2	5	1	56

(2) 事故への対応

遠野市への報告は 1 件(転倒骨折)

事故・ヒヤリハットはその都度検討し再発防止に努めた

5 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対 応	

6 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

7 施設・設備等の改善について（長寿庵拠点全体）

月 日	内 容
4 月	折り畳みベッド・ソファ・クリアケース（1F）
8 月	エアコン（2F）
9 月	職員休憩室（プレハブ）
11 月	パネルヒーターのサーモスタッドバルブ（2F）
11 月	台所流し台排水ホース（2F）
11 月	乾燥機（1F）
12 月	エレベータのボタン（1F）
12 月	洗濯機（1F）

8 行事実施状況（長寿庵拠点全体）

月 日	内 容	参加人数
4 月 27 日	入部行列見学	13 名
4 月 29・30 日	お花見ドライブ	16 名
5 月 9 日	味噌作り体験	9 名
5 月 24・25 日	新緑ドライブ	17 名
6 月 17 日	長寿庵運動会	22 名
7 月 4 日	七夕	23 名
7 月 14 日	紫陽花ドライブ	5 名
8 月 11 日	夕涼み会	22 名
9 月 20・21 日	遠野まつり見学	20 名
9 月 28 日	紅葉ドライブ	13 名

10月17日	敬老会	30名
10月20日	秋の味覚祭	21名
11月16日	紅葉ドライブ	6名
12月25日	クリスマス会	22名
12月28日	鏡餅作り	18名
1月7日	初詣	5名
1月15日	水木団子作り	23名
1月22日	新年会	25名
2月5日	節分豆まき	24名
3月22日	遠野市国際理解講座参加（ネパールのお菓子作り）	2名
通年行事	手作りおやつを楽しむ会（4月～）	11回開催
通年行事	体を動かすレクリエーション（1月～）	34回開催

9 会議・研修実施状況（長寿庵拠点全体）

（1）会議実施状況

会 議 内 容	回数
長寿庵会議	12回
運営推進会議	6回

（2）施設内研修実施状況

月 日	研 修 内 容	参加人数
4月17日	事業計画説明・介護記録の書き方	11名
5月20日	倫理・法令の遵守について	16名
6月23日	リスクマネジメント研修（安全、高齢者虐待）	15名
7月10日	救急救命講習	名
7月31日	リスクマネジメント研修（BCP 災害）	8名
8月27日	リスクマネジメント研修（感染症）	7名
9月	リスクマネジメント研修（身体拘束・権利擁護）	15名
10月21日	救急救命講習	6名
10月23日	リスクマネジメント研修（安全、高齢者虐待）	15名
11月25日	非常災害時対応、緊急時対応	7名
12月25日	リスクマネジメント研修（感染症、BCP 感染）	7名
12月25日	認知症の理解	7名
1月28日	リスクマネジメント研修（高齢者虐待、権利擁護）	8名
2月25日	介護技術研修	8名

（3）施設外研修

月 日	研 修 内 容	参加人数
-----	---------	------

5月9日	経営改革会議	1名
5月21日	合同リスク会議	1名
6月13日	経営改革会議	1名
6月19日	介護支援専門員更新研修	1名
7月11日	経営改革会議	2名
9月12日	経営改革会議	2名
9月25・26日	防火管理者講習	2名
11月14日	経営改革会議	2名
11月19日	合同リスク会議	3名
1月17日	介護職種の技能実習指導員講習	1名
2月5～7.26～28日	介護支援専門員実務研修	1名
2月19日	合同リスク会議	4名

10 視察・研修受け入れ状況（長寿庵拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
5月15日	小規模多機能ホームいづな	施設内見学・事例検討	4名

11 防災訓練等実施（長寿庵拠点全体）

対象	訓練事項	実施内容	回 数
職員・利用者	総合訓練	日中・夜間想定避難訓練（火災想定）	3回
職員		緊急連絡網訓練	1回

12 ボランティアの状況（長寿庵拠点全体）

月 日	所属又は氏名	内 容	人 数
7月5日	遠野保育園	七夕訪問	15名
9月21日	遠野保育園	とおの祭り・踊り披露	15名
10月31日	遠野保育園	ハロウィン訪問	30名

【12】グループホーム長寿庵

1 実践目標

1. 利用者が快適に過ごす環境作り
2. 地域に頼られ、地域に貢献できる事業所

数値目標

稼働率	96%以上
月間収入目標	3,367,000 円以上
年間収入目標	40,404,000 円以上

2 実践目標の達成状況及び成果

実践目標「利用者が快適に過ごす環境作り」については、個々の特性や能力に応じた役割の付与を目的として、グループホーム会議内において毎月3名ずつケース検討会を実施しました。さらに、モニタリングを通じて支援内容の評価を行い、継続的な支援の質の向上に努めました。また、利用者の生活状況を家族と共有するため、3ヶ月に一度、各担当職員のコメントおよびグループホーム内での様子が分かる写真を添えたお便りを作成し、自宅へ送付しました。加えて、職員の知識および支援技術の向上を目的に年間研修計画を策定し、担当を割り振った上で、毎月内部研修会を実施しました。これらの取り組みにより、利用者支援の充実と職員の専門性向上を図りました。

実践目標「地域に頼られ、地域に貢献できる事業所」については、保育園児を施設へ招き、遠野まつりやハロウィン、クリスマスなどの季節行事を通して利用者との交流を実施し、世代を超えた関わりの場を設けました。さらに、地域清掃活動への参加や材木町民と合同での防災訓練を実施し、地域の一員としての役割を果たすとともに、地域住民との関係づくりにも努めました。また、グループホームの活動や様子を広く知ってもらうため、ホームページの定期的な更新による情報発信を予定していたが、諸事情あり実施には至りませんでした。来年度はホームページのリニューアルが予定されているため、今後は積極的に施設の様子を発信し、地域への理解と信頼関係の構築につなげていきたいです。

数値目標については、稼働率 96%の目標に対し、94.8%とわずかに下回る結果となりました。また、収入面においても、月間収入は目標 3,367,000 円に対し 3,278,432 円、年間収入は目標 40,404,000 円に対し 39,341,180 円と、いずれも目標には及びませんでした。要因としては、昨年4月に事業を再開し、5月には満床になったものの、入退院に伴う空床期間や在宅からの入所調整が円滑に進まず、速やかな受け入れができなかったことが影響したと考えられます。

3 運営状況

(1) 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要支	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
援2	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

要介 護 1	実人員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
	延べ人員	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
要介 護 2	実人員	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	25	2.1
	延べ人員	46	62	60	62	62	60	44	69	57	62	56	62	703	58.6
要介 護 3	実人員	4	5	5	5	5	5	6	6	4	4	4	4	57	4.8
	延べ人員	120	155	150	155	140	150	175	157	124	124	100	124	1674	139.5
要介 護 4	実人員	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	15	1.2
	延べ人員	0	31	30	31	31	30	31	42	62	62	49	31	430	35.8
要介 護 5	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	実人員	7	9	9	9	9	9	10	12	9	9	9	8	109	9.1
	延べ人員	196	279	270	279	264	270	281	298	274	279	233	248	3171	264.3

(2) 年齢構成 (令和8年3月31日現在)

区 分	59 以下	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	合 計
男	0	0	0	0	0	0	1	1	2
女	0	0	0	0	1	1	0	4	6
計	0	0	0	0	1	1	1	5	8

(3) 入居前住所(出身地別) (令和8年3月31日現在)

町 名	人数	町 名	人数	町 名	人数	町 名	人数
遠野町	1	新町	3	早瀬町	1	松崎町	3

4 利用者・ご家族等からの苦情等とその対応について

(1) 苦情等の受付状況

受付月日	なし
苦情の内容	
対 応	

5 「身体拘束」「高齢者虐待」の状況とその対応について

(1) 身体拘束の状況

対象者の概要	拘束内容	対応
なし		

(2) 高齢者虐待の状況

対象者の概要	虐待内容	対応
なし		

【12】法人事務部

1 実践目標

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 経営支援2. 事務の業務管理3. 職場環境整備 |
|--|

2 実践目標の達成状況及び成果

財政状況の透明化を図るため、運営会議にて収支状況を報告し、税理士と情報の共有を行っています。老朽化に伴う設備機器の不具合については、防火扉修理、浴室タイル張替え、配管水漏れ修理、側溝修理などを行いました。また、長寿の郷施設の長寿命化工事や天井結露対策のための断熱付加工事、換気扇取付工事を実施しましたが、今後も各拠点で大規模な設備の更新工事が必要になると思われます。災害時に備えて、非常食を備蓄しています。各種訓練を定期的に開催し、地域住民や消防団の協力を得ながら、有事に備えた対策と防災意識の向上を図っています。

事務管理業務では、協力体制を整備して業務の効率化に努めました。業務のデジタル化や IT 化を検討し、次年度に少しずつ導入していきます。職場の共有スペースの整理整頓を実施しました。ご家族や職員がゆっくり休むことが出来る空間づくりに努め、受付窓口、事務室カウンターも整理することで、声をかけやすい雰囲気を作ることができました。窓口ではきちんと挨拶をし、適切な電話の取り次ぎを行うことができたので、要望や苦情等はなく期待通りの成果でありました。営業や迷惑電話、担当者不在の状況などがあるので、それでも言葉遣いには細心の注意を払い、相手が誰であってもどんな状況でも、誠意をもった対応を心がけていきます。

職員の健康診断を実施しました。その結果を分析し、会社でできる対策を検討しました。また、保健指導に繋げ、生活習慣の改善を促しました。職員の状況として、心の不調で休職する職員が目立っています。ストレスチェックは、例年、実施しており、産業カウンセラーによるメンタル相談の場を提供しているので、今後、休職する職員の早期職場復帰を支援していきたいです。職員の労災事故防止と交通事故防止に努め、予防の周知を行います。職場環境整備では、動線を意識した席替えや書類場所の変更を行い、業務効率を上げることができました。ソウェルクラブは積極的に活用することができています。遠野市の健幸ポイント事業の参加者が減っていますが、参加料を会社が負担し、参加特典の景品が拡大されたので、加入促進を図っていきます。

【13】経営改革室

1 取り組み経過

月日	取り組み
5月9日	第1回（通算22回）経営改革会議 ・ 今年度の経営改革の重点について ・ 収益向上の視点について
6月13日	第2回（通算23回）経営改革会議 ・ KPI マネジメントについて ・ 人員の適正化について
7月11日	第3回（通算24回）経営改革会議 ・ KPI 達成状況の確認 ・ 遠野市の介護保険市場の動向について ・ 時間外労働の削減について
9月12日	第4回（通算25回）経営改革会議 ・ KPI 達成状況の確認 ・ 時間外労働削減の実行計画について ・ 社風アンケートの結果について
11月14日	第5回（通算26回）経営改革会議 ・ KPI 達成状況の確認 ・ 時間外労働の計画実行状況の確認 ・
1月10日	第6回（通算27回）経営改革会議 ・ KPI 達成状況の確認 ・ 時間外労働の計画実行状況の確認 ・ 職務評価基準について ・ 社風向上のためにリーダーがすること宣言
11月～	・ ホームページリニューアルに向け、コンペ開催、業者選定、プロジェクト立ち上げ等を行う

2 その他の取り組み経過

月日	取り組み内容
7月	令和7年度介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣及び厚生労働大臣表彰において厚生労働大臣奨励賞受賞
11月	いわて働き方改革 AWARD2025 において最優秀賞受賞

3 取り組みの成果

令和7年度は、「収益向上」と「人員の適正化」の2つについて、重点的に取組を行いました。「収益向上」については、収益構造を分解し、収益を上げる要因を明確にし、その要因のKPI（重

要業績評価指標）を設定し、定期的にモニタリングを行いました。また、利用者満足度を向上するため、カスタマージャーニーマップを活用し、満足度を上げる接点における対応を検討しました。

「人員の適正化」については、嘱託職員の職務と待遇見直しを行いました。また、時間外労働の発生要因を分析、検討し、時間外労働の適正な削減を行いました。

経営改革室の取り組みは、令和4年度から開始し4か年計画で進め、今年度をもって終了します。次年度以降は、各拠点の生産性向上委員会に引継ぎ、拠点の課題に沿った形で取組を進めることとなります。